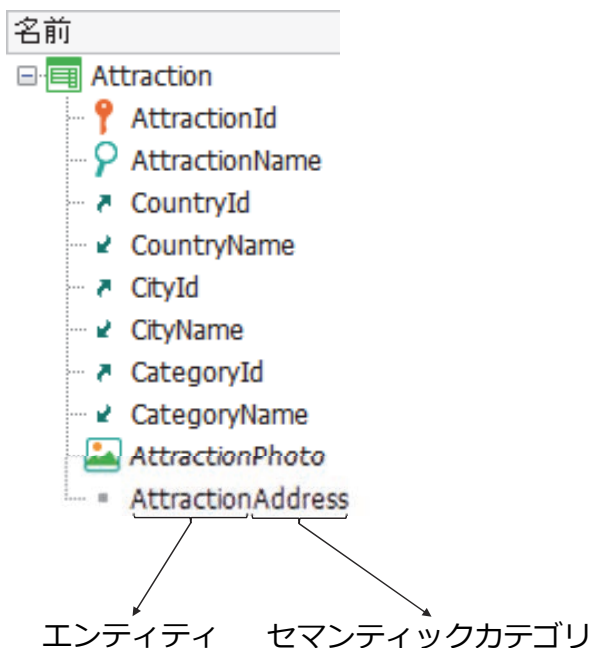


項目属性の命名規則

GeneXus™

項目属性の命名



項目属性の名前を決定するために、GeneXus では、項目属性の意味を理解しやすい命名法を提案しています。
この命名法では、項目属性名から何についての情報か、誰についての情報かを理解しやすくしています。

この命名法に従っている場合、例えばAttractionAddressという名前の項目属性が追加されたという情報を見た時点で、どのトランザクションに追加されたどのような値の入力を想定したものか判断できます。
キャメルケースに基づき、1つ目の単語をエンティティと呼び、どのトランザクションであるかを判断でき、2つ目の単語をセマンティックカテゴリと呼び、何を入力することを想定しているか説明します。

この命名法について詳しく説明します。

GIK (GeneXus Incremental Knowledge Base) 命名法

エンティティコンポーネント [+ 修飾子] + セマンティックカテゴリ

トランザクション名 [+ レベル名]

エンティティ コンポーネント	[修飾子]	セマンティック カテゴリ
Customer		Id
Customer		Name
Customer	Added	Date
Customer	Birth	Date
Country		Id
Country		Name
CountryCity		Id
CountryCity		Name

GeneXus の提案する命名法は、GIK 命名法と呼ばれます。
この命名法では、エンティティコンポーネント、セマンティックカテゴリ、必要に応じてその間に修飾子という単位をキャメルケースで表記します。

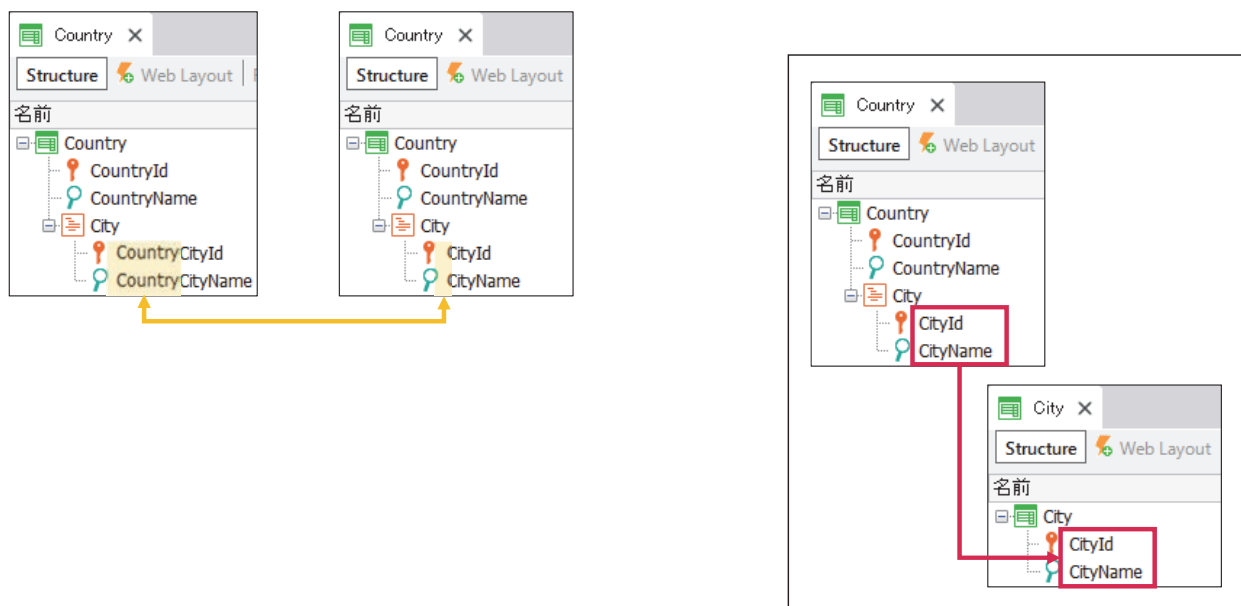
「エンティティコンポーネント」とは、トランザクションオブジェクトの名前、もしくはトランザクション名+レベル名とします。
つまり、この単位で定義された単語によって、項目属性が定義された場所を特定することができます。

「セマンティックカテゴリ」とは、この項目属性に入力されることを想定した値を説明する文字列となり、この単位で定義された単語によって、どのような値を管理するか判断することができます。

もし、セマンティックカテゴリとしての単語だけでは、他の項目属性名と重複してしまう場合、必要に応じて「修飾子」をエンティティコンポーネントとセマンティックカテゴリの間に追加します。

※あくまでも**ご提案**となり、この命名法の利用が必須ではありません。

GIK 命名法のカスタマイズ



GIK 命名法をベースに会社やプロジェクト単位でカスタマイズしていただくことも可能です。

例えば、今回の例に利用しているトランザクションのうち、Country トランザクション内の第 2 レベル City で定義した項目属性には、エンティティコンポーネントにおいてトランザクション名である「Country」を省略しました。

これは、国と都市というデータの関連性は一般的なものであり、City という別のトランザクションが存在する状態を考えにくいため、項目属性名の長さを短くするため、カスタマイズした対応の 1 つでした。

*GeneXus*TM

training.genexus.com
wiki.genexus.com